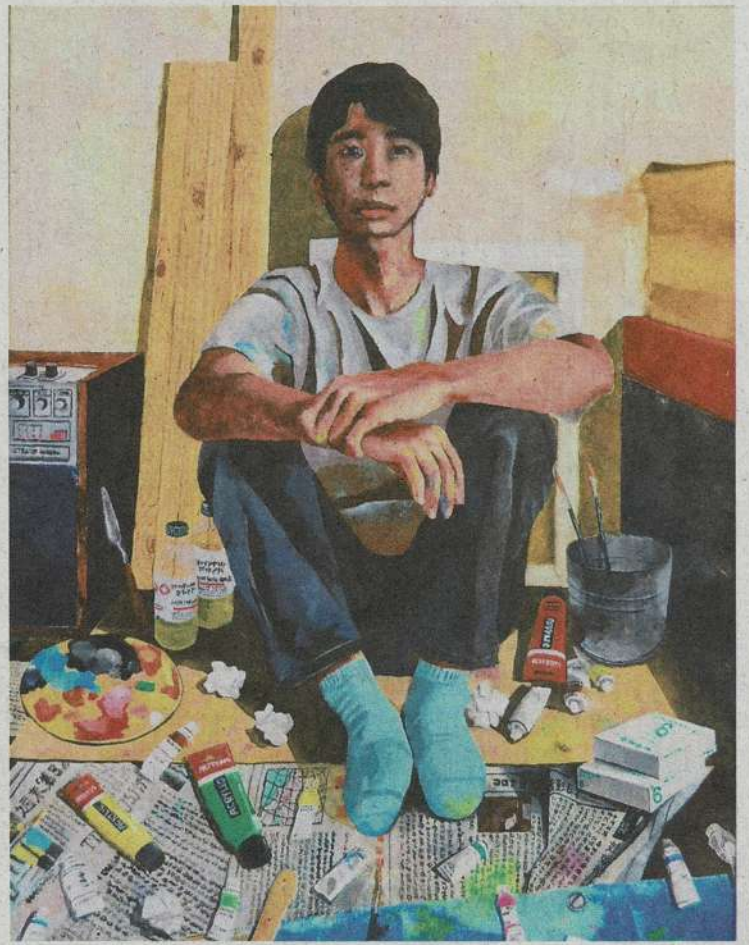


銀光会賞に選ばれた横山陸渡さんの油彩「十九」



銀光展 最高賞に横山さん (崇城大 2年)

県美分館 来月6日から作品展

県内で最も長い歴史を持つ絵画公募展「第83回銀光展」の審査があり、最高賞の銀光会賞に崇城大芸術学部

2年の横山陸渡さん (19) 合志市 〃の油彩「十九」を選んだ。絵の具やパレットが散らばった部屋に座り込む

自画像で「色彩の配置や、水平・垂直の組み立てが巧み。制作に取り組む真摯な姿勢も伝わる」と評価され

次席の熊日賞は第二高2年の鍋島安希さん (16) 菊陽町 〃の油彩。銀光会会員の最高賞である田代順七賞は柿本照子さん (73) 〃熊本市 〃の油彩に決まった。

本年度から新たに小品部門の審査も開催し、奨励賞に一般公募の6点を選んだ。1933年に創設された在熊の洋画団体・銀光会(田代晃三代表)が主催。一般公募には139点が寄せられた。

7月6〜11日、熊本

市中央区の県立美術館分館で作品展がある。一般の入賞・入選と会員・会友作品、遺作の計227点を並べる。入場料は一般300円、大学生以下無料。表彰式は10日午後2時から同館で。

(魚住有佳)